

# 宮古エフエム放送株式会社

## 第 17 回 番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 28 年 4 月 25 日(月) 午後 6 時
2. 開催場所 宮古市栄町 3 番 35 号キャトル 5 階
3. 委員の出席 委員総数 :6 名  
出席委員数 :6 名  
◎出席委員 (敬称略)  
坂下 光明  
茂内 博彦  
田崎 喜久子  
伊藤 より子  
大越 亮一  
菊地 俊二

会社事務局側出席者 (6 名)  
及川 育男 (代表取締役)  
佐々木 大和 (専務取締役)  
坂本 和 (取締役放送局長)  
池田 篤司 (取締役)  
菊池 幸吉 (取締役)  
他事務局 1 名

事務局より、前期委員が任期満了で交代いとなり現在委員長が不在のため、委員長が決まるまでの間事務局で対応させていただき旨を説明。

社長より、皆様から新たに多くのご意見を賜り、より発展する方向へお力添えいただきたい旨を述べ、より多くの角度からの審議をお願いした。

委員の自己紹介があり、その後事務局より会社側出席者の紹介と挨拶があった。

#### 4. 議題

##### 1) 委員長、副委員長の選定について

事務局より初めの議題として今期新委員長及び副委員長の選出を行いたい旨を議場に諮ったところ、委員より事務局に一任する旨の声があり、これを受けた事務局より委員長を坂下光明氏、副委員長を大越亮一氏に

お願いしたいと提起があり、委員の満場一致で委員長及び副委員長をお願いすることに決定した。

事務局は従来通り委員長が議長となって議事進行をして頂くよう要請し、委員長に議事を託した。

委員長より、挨拶があり、以降の議事を進める。

- 2) 昼の生放送番組ひるなび826で毎週水曜日 13:00頃から放送している、宮古市のそれぞれの地域で息づく様々な文化・伝統歴史についてお伝えするコーナー「宮古文化研究所」。4/13(水)に放送した、津軽石地区の郷土芸能「津軽石さんさ」について保存会の方に伺ったお話を20分程度聴いていただき、意見、質問、感想等を受けた。

### 審議の内容

#### 【感想】

さんさと言えば盛岡ではと言う疑問がありましたが、お話を聞いてどのようにして伝わってきたのかわかりました。小学生など継承活動する中で、このように宮古の郷土芸能をたくさん知ってもらえる良い番組だと思います。

#### 【感想】

番組として話がまとまっていて聞きやすく、とても良い番組だと思います。

#### 【感想】

宮古の津軽石さんさ踊りの伝承・保存活動について話されており、とても勉強になりました。

#### 【感想】

私も、この放送時間帯はなかなかリアルタイムで聞くことができないのですが、今までどんな文化について紹介されたのかとても興味を持ちました。

#### 【感想・意見】

宮古市の郷土芸能もたくさんありますが、どこの団体も後継者問題は大きな課題だと思います。そんな中、市民の関心を高めるということは番組の企画としてよいと思う。聞き手も項目ごとに由来や他の団体との違いについてうまく聞きだしておりとても良かったと思います。欲を言えば、10種類の踊りがあり、その踊りは一つ一つ意味を持っていると言っていたが、その10種類の踊りについてもっと深く聞いてほしかった。そうすることで、踊りもイメージしやすいと思います。

この放送を聴いて、さんさ踊りを見に行った時にただ踊りを見ていたものが、違う視点から見ることができ非常に良いと思う。これからも、こういう機会を増やしていき、地域で伝承活動を頑張っている皆さんにスポットをあてていただき、励みになれば後継者育成にもつながっていくと思う。そんな番組制作をしていただきたい。

#### 【感想】

宮古にもいろんな伝承活動をしている方々がいますが、一部の人しか知らなかったりしますが、そういったものを知ることができました。ラジオはテレビと違い映像が無く音だけで伝える。今回の聞き手は、笠や道具・衣装の色や形など見なくてもわかるような上手な聞き方をしていた。歴史に始まり最後のまとめまで、流れが理路整然としており、地元の人でなくても解りやすい内容で、聞き易くとても良い構成だったと思います。

#### 5. 審議機関の答申又は改善意見に対して取った措置及びその年月日

事務局より、地域性を持ったラジオ局、ラジオを通じて人づくり・コミュニティづくりの一助になればと考えている。これからも、質の高い番組の制作を目指していきますので、今後も皆さんの忌憚ないご意見を求める旨即答。

#### 6. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合の公表内容等

公表方法 : 本社事務室に備置き  
          : 自社ホームページに掲載  
公表内容 : 議事録を公表  
公表年月日 : 平成 28 年 5 月 16 日